令和８年７月国見町教育委員会定例会 会議録

１　開会日時　　令和８年７月２１日（火）　午後６時１０分開会

２　招集場所　　国見町観月台文化センター　第１会議室

３　出席委員　　１番　　高橋　幸子　教育長職務代理者
２番　　志村　裕美　委員
３番　　中村　裕美　委員
４番　　菊地　貴雄　委員
５番　　石幡　良子　教育長

４　説明のため出席した職員の職氏名

教育次長兼教育総務課長	宍戸　浩寿
教育施設課長	佐藤　智宏
生涯学習課長	実沢　隆之

５　書　　記　　教育総務課主幹兼総務係長　　八島　　章
教育総務課主任主査兼こども教育係長　蓬田　祐子

６　傍 聴 者　　なし

７　会議の成立

教育長から、教育委員半数以上の出席があり、会議が成立していることが告げられた。

８　会議録署名委員

教育長から、高橋幸子教育長職務代理者、菊地貴雄委員が会議録署名委員として指名された。

９　会期の決定

教育長から、会期は本日１日としたい旨の発言があり、これについて図ったところ、全員に異議無く、そのとおり決定された。

１０　会議録の承認

教育総務課長から、令和８年６月定例会会議録について説明があった後、教育長からその承認の可否を諮ったところ、全員に異議無く、これを承認することに決定された。

１１　教育長報告

（1）教育長出席会議等について

教育長から、出席会議等について、別紙により報告した。なお、報告の要旨は以下のとおり。

【報告要旨】

・子ども議会

中学3年生7名が子ども議長・子ども議員として登壇した。今年度は町役場から各課の職員が複数回中学校に出向き、子どもの疑問に回答し思考を深める伴走支援を実施した。

現実を踏まえた根拠ある前向きな質問が多く、学びの深化が確認できた。生徒の感想には、「まちをもっと知りたい」「行政の仕事が生活につながっていると分かった」「自分のためだけでなく、まち全体を考えるようになった」「実現にはお金・人・協力が必要と気付いた」「自分もまちづくりに関われると思った」といったものがあった。

子どもにとっては地域課題を自分事として考える経験に、職員にとっても良い機会となった。

・第2回 国見学園コミュニティ・スクール委員会並びに地域学校協働本部運営委員会

中学2年生を交えて「いじめをなくし、誰もが安心して過ごせる学校・学級にするため自分にできること」をテーマに熟議を行った。

主な班の意見:

1班：いじめを見つけたら双方から話を聞き、止める努力をし、先生に伝える。きっかけは勘違いや思い違い。

6班：異なる考えの人をいじること、偏見・不満がきっかけ。相手の気持ちを理解し、自分がされて嫌なことはせず、立ち止まって考え、リスペクトする。

9班: 面白がる気持ちからいじめが生まれる。相手の気持ちを考えて行動し、リスペクトし、早期発見・見逃さない。SNSでの悪口やネガティブ発信はしない。見つけたら先生・大人に相談する。

12班: きっかけはマウント、悪口、見た目比較、言葉の暴力、特性の有無、健康、保護者側の配慮不足など。予防は思いやりと相互リスペクトの心の育成、相談ボックス設置など環境改善。

CSマイスターマスター 安齋宏之先生からは、当事者意識を持ち、自分事として考えたことを行動に移すには壁があり、協働が重要。2年生だけで終わらせず、1・3年生や保護者も交えて「我々ごと」にすることが大切。時間を置いた振り返りと次の熟議につなげ、継続的な取り組みの発信が大人の学びにもつながる。人権教育は町民すべてに重要との助言があった。

また、県北中の金子校長からは、今後は学年横断・保護者参画の熟議を計画。振り返りを重視し、いじめのない学校を目指す。今回の熟議は継続意識と計画化に踏み込めた点で意義が大きいとの感想があった。

【質疑】

●高橋委員

国見町にいじめは存在するのか。

〇教育長

国見町にもいじめは存在する。小さなトラブルが大きないじめにならぬよう初期対応を徹底し、皆で考え取り組んでいく。

（２）子ども議会について

教育総務課長から別紙により報告した。なお、報告の要旨は以下のとおり。

【報告要旨】

・実沢優莉議員

誰もが安心して歩ける通学路の安全確保についての質問。危険箇所として、暗い道、路上駐車、見通しが悪い曲がり角を指摘があり、中学生の通学安全に関する現状認識の質問。教育施設課長から、夜間に暗い道、見通しが悪い道、区間によっては車両走行への不安があることを認識している。状況に応じて安全ルート変更、保護者送迎依頼等で安全確保に努めていると答弁。また、防犯灯・カーブミラー設置、路上駐車解消が進まない理由と今後の取組について質問があり、住民防災課長から、防犯灯は町内 1,127 基すべて LED 化を完了した。今後の詳細な対策は関係部署と連携して検討していくと答弁。

・長谷川琴南議員

部活動引退後における中学生の運動不足解消と健康づくりについての質問。引退後の中学生の健康状態や運動不足の現状をどう把握し、課題は何かとの質問。教育総務課長が全国体力・運動能力・運動習慣等調査や保健室の利用状況で把握している。課題は「新しい運動習慣を身につけることの難しさ」と「受験勉強との両立の難しさ」の２点。意識改革も必要と答弁。また、部活動以外で運動できる施設や取り組みは何かとの質問に対し、生涯学習課長が上野台運動公園、上野台体育館、グリーンアリーナ９２３、舶用体育館など環境は恵まれている。総合型地域スポーツクラブ「ももたんスポーツクラブ」ではサッカー教室などを開催し、中学生 14 名が入会していると答弁。

・岡崎悠稀人議員

各種検定の受験料の補助についての質問。全学年対象に英検・漢検・数検等の受験料を全額補助する仕組み（各検定年間１回まで）の提案があり、教育総務課長が、提案はアイデアとして受け止め、持続可能な教育支援のあり方を検討すると答弁した。また、合格者に図書カードを贈呈する仕組みの提案があり、教育総務課長から、目的意識は理解するが、報酬を目的とした学習が内発的な学習意欲に与える影響は慎重に見極める必要がある。また、不合格者の気持ちにも配慮が必要と答弁。

・齋藤　葵議員

国見町の農業の未来を守るための企業化による産地活性化についての質問。農業の法人化により、シフト制、技術マニュアル化、資金力強化し、持続可能な農業の在り方の提案があり、産業振興課長が農家数は約 28 年で 36%減少。提案の実現には、桃の収入が集中する時期以外の運営費や給与、人材確保、資金調達、栽培技術のマニュアル化などの課題がある。しかし、果樹地の集団化・集約化は次世代継承のために推進すべき事業だと答弁した。

・富田浩歩議員

「町の魅力を伝えるイベントの充実と特産品のキャラクター活用について」の質問。「国見町の食べ物エリア」を作り、国見町ならではの屋台を増やすことや国見町に関するクイズ大会の開催、特産品・ももたんの PR を強化することの提案。企画調整課長が、国見町の食材を活用した出店については、国見産 100％に近いピザを、地域おこし協力隊が今年の義経まつりで販売予定であり、「国見町に関するクイズ大会」や「特産品やももたんの PR」についても実施の方向で検討していくと答弁。

・齋藤ひまり議員

中学生が安心して過ごせる「居場所」についての質問。中学生の居場所の重要性について町の考えの質問に対し、生涯学習課長が観月台文化センターと駅前の「アカリ」が利用可能。既存施設を有効活用し、居場所の充実に努めると答弁。また、観月台文化センター内のスペース分離と図書館でのマンガ・アニメ鑑賞を提案。生涯学習課長より多目的スペースとフリー学習室の時間帯などで区切り、遊びの場所としての利用を試行的に行い、検討すると答弁。

１２　協議・報告

（１）教育総務課報告

教育総務課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。なお、説明の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

・子ども議会の伴走支援: 町職員が議会への理解を深めるため、伴走支援として参加。

・国見学園コミュニティ・スクール管理職研修会（6 月 22 日開催）: コミュニティ・スクール推進にあたり、管理職の役割を重視し、心配事や悩み事について本音で話し合った。

・架け橋期カリキュラム作成委員会 第 1 回研修会（6 月 23 日開催）: 保育所・幼稚園の先生方が参加し、講師 2 名を招いて研修会を実施した。

・人権教育キックオフ会議（6 月 24 日開催）: 令和 8 年度、国見町が県の人権教育推進地域に指定され、年間を通じて取り組むもの。教職員と児童生徒の人権意識を高め、学校、家庭、地域が一体となって進めるため、意見交換を行った。

・いじめ問題合同会議（6 月 26 日開催）: 新任委員への委嘱状交付、条例等の説明のほか、いじめ根絶に向けた情報交換を行った。

・コミュニティクラブ運営委員会（6 月 29 日開催）: 中学校部活動の加入状況及び地域展開の進め方について話し合いを行った。

・こども議会（8 月 9 日開催）: 県北中学校 3 年生 7 名が参加し、暮らし、安全、教育、産業、まちづくりなどについて提案や質問があった。

・国見学園コミュニティ・スクール委員会ならびに地域学校協働本部運営委員会（7 月 14 日開催）: 中学 2 年生も参加し、「いじめをなくし、誰もが安心して生活できる学校・学級にするのために」というテーマで熟議を行った。また、委員会では、家庭教育支援活動の推進や学校支援活動の継続・発展等の課題について説明があった。

【質疑】
○志村裕美委員
　子ども議会の伴走支援について、子どもたちの質問内容を見ると、かなり詳しい知識を必要とする質問が多く見受けられた。役場の支援は、課題を提示しながら進めたのか、それとも子どもたちが興味のある分野を選んだのか、どのようにしてここまで深く検討できたのか。
●八島主幹
　伴走支援については、生徒たちが自分の生活の中で特に深掘りしたい分野について挙げ、それをいくつかの分野に分け、グループで話し合うという流れをとった。各グループにはその分野の行政職員が入り、生徒たちの知見を深める手伝いをした。特に心がけたのは、子どもたちの自由な発想を、予算などを理由に否定しないこと。「できません」という思考はせず、子どもたちが思っていることをどうすれば解決できるかという視点を大切にするした。そのためには授業前には参加職員約 10 名で必ず打ち合わせを行い、意思の共有を図って取り組んだ。
●教育長
　中学校の授業へは 5 日間にわたって参加した。事前の打ち合わせも含め、仕事と両立しながら関わってくれた職員には本当に感謝している。

○志村裕美委員
　「架け橋期カリキュラム」とはどのようなものか。
●教育次長
　「架け橋期カリキュラム」とは、幼児教育から小学校の義務教育への移行をスムーズにするための教育プログラム作成のこと。遊びを中心とした幼児教育から、小学校での 45 分間の授業へと、どのようにつないでいくかを計画するもの。
●教育長
　小学校に入学すると、年長時に出来ていたことがリセットされてしまうことがある。これは、小学校の先生方が幼稚園でどこまで能力が高まっているか分からないため。そこで、幼児教育での成長の高まりを受け継いで、小学校 1 年生の教育に繋げられるよう、しっかり連携できるカリキュキュラムを作り始めた。

○高橋委員
　子ども議会についてですが、参加は 3 年生全員か。1、2 年生は参加しないのか。また、議会の様子を中継などで 1、2 年生に伝えるようなことはしているか。
●八島主幹
　議会の様子はリアルタイムで配信しましたが、1、2 年生には共有していない。1、2 年生にも何らかの形で共有すべきだと考えている。
○高橋委員
　来年につなげることを考えると、もったいないなと感じる。これだけ素晴らしい内容の取り組みが 2 年生に伝わっていれば、来年の子ども議会も充実するのではないかと思う。

●教育長

ライブで見せたいという思いがありましたが、当日は 2 年生の職場体験と日程が重なってしまい参加ができなかった。せめて 2 年生が見ていればイメージがつき、次年度につながるのにと思ったが、今年はそういった事情があった。

○高橋委員

あと半年で中学校を卒業してしまうため、活動が次につながるように期待する。

●教育長

日程調整も含め、次につなげられるようしっかり考えたい。大切な意見に感謝する。

（2）教育施設課報告

教育施設課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

なお、説明の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

・認定こども園設置検討委員会の視察: 6 月 18 日に福島学院大学認定こども園と認定こども園飯坂、23 日には桑折町の認定こども園を委員 10 名で視察した。

・第 2 回 認定こども園設置検討委員会（7 月 7 日開催）: 町内の子育て施設（幼稚園・保育所）の現地調査と視察の振り返りを行い、意見の共有を図った。次回 8 月 4 日の第 3 回検討委員会から、本格的な検討を始める予定。

【質疑】

なし

（3）生涯学習課報告

生涯学習課長から別紙により報告があった後、全員に異議なく、原案のとおり了承された。

なお、説明及び質疑の要旨は以下のとおり

【説明要旨】

・地域学校協働事業：

公営塾・高校入試対策教室: 年間を通した講座を実施しており、16 名が参加。今月は 7 日間開催予定。

少年仲間づくり教室: 7 月 12 日にキャンプの結団式を行い、児童 46 名と学生ボランティア 2 名が出席。8 月 6 日、7 日にはキャンプを実施し、51 名の児童が参加予定。

・くにみ観月台カレッジ交通安全教室

125 名の参加のもと、福島北警察署の方を講師に「交通事故防止のために」という演題で講演会と、福島県警音楽隊による演奏発表会を実施した。

・芸術文化事業

7 月 11 日に文化センターホールにて白河俊平ピアノリサイタルを実施し、165 名に来場いただいた。また、キッズシアターとして東京演劇集団「風」による演劇を実施し、国見小学校の全校児童が鑑賞した。

・スポーツ事業

東北クラブ男子ソフトボール選手権大会出場者 2 名、福島県総合スポーツ大会に出場する少年ソフトボール、ソフトテニス、家庭バレーボールの皆さん、そして第 29 回北日本還暦軟式野球大会に出場する国見ドリームクラブのチームに激励金を交付した。

・図書館事業

大人の文学講座「宮沢賢治文学の魅力」を 6 月 17 日と 7 月 15 日に開催し、38 名が参加。第 3 回を 8 月 19 日に開催予定。また、子ども司書講座について、 6 月 20 日に開講式を実施し、受講生は 5 名だった。

・青少年健全育成町民会議 奨励金交付式

7 月 15 日に、福島県中学校体育大会の陸上競技大会（共通男子 110m ハードル走、共通女子砲丸投）と男子バレーボールで活躍した県北中学校の生徒に奨励金を交付した。

【質疑】

なし

（４）その他

① 市町村教育委員会連絡協議会 教育委員・教育長研修会

８月１８日（火)、パルセいいざかにおいて、研修会が開催される。詳細な時間は後日連絡する。

② ８月の教育委員会の日程

８月２１日（金）１８時から、観月台文化センター第１会議室で教育委員会を開催する。

１５ 閉　　会　　午後７時１０分閉会